

2017年9月6日

各位

株式会社 三井住友銀行

イオン九州株式会社に「S M B C食・農評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、イオン九州株式会社（代表取締役社長執行役員：柴田 祐司）に「S M B C食・農評価融資」を実施しました。

「S M B C食・農評価融資」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：瀧崎 正弘）が作成した独自の評価基準に基づき企業の食・農取組を評価し、評価結果に応じたご融資条件の設定を行うとともに、取組内容に関する今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する融資商品です。

今回対象となったイオン九州株式会社は、「消費と供給の合理化」、「食の安心・安全に対する姿勢」、「食・農分野の付加価値拡大」において高い水準であると判断され、企業経営において大変優れた食・農取組を実施されているとの評価になりました。

特に、イオン九州独自で『九州商品開発部』を設置するなど九州らしさを大事にする運営を行っており、プロモーション企画「九州食べごろ物語」をはじめ地場産品の販売促進を積極的に実施されている点、味の素(株)九州事業所との連携により「アミノ酸発酵菌体」を堆肥に用いてアミノ酸含量が増した野菜を生産する「九州力作野菜」など企業横断的な取組にも注力されている点、イオングループの「フードアルチザン活動」の一環として、大分「赤採りトマト」、鹿児島「安納いも」など新しい食の価値観を提案したほか、熊本の伝統的な柑橘「晩白柚」のブランド化に貢献し、輸出活動なども実施されている点、が高く評価されました。

三井住友銀行では、「S M B C食・農評価融資」により、日本の「食生活の向上」及び「農水産業の強化」に繋がる取組を、金融を通じてご支援して参ります。



九州食べごろ物語



九州力作野菜



フードアルチザン活動

以上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。